

通 信

沖縄生物学会第53回大会の開催のお知らせ

沖縄生物学会の第53回大会を下記の要領で開催いたします。会場は琉球大学西原キャンパス大学会館です。一般講演、公開シンポジウム、懇親会を予定しています。また別途、ご案内を差し上げますので、多数の会員のご参加をお待ち申し上げます。

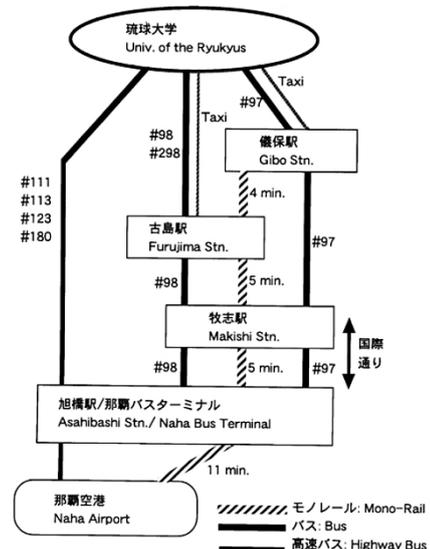
公開シンポジウムについてはただいま検討中です。シンポジウムのテーマに関してご意見、ご提案がありましたら、2016年1月末までに事務局までご連絡下さい。5月28日(土)の午後に高校生によるポスター発表を計画しております。高校生の参加費は免除されますのでふるってご参加ください。

2016年 5月28日(土) 第53回大会：琉球大学

大会参加費：1,500円(学生 1,000円)

懇親会費 事前：2,000円, 当日：3,000円(学生 1,000円) **※事前申し込みがお得です!!**

5月28日(土)	受 付	8:30~	琉球大学 大学会館ロビー
琉球大学	一般講演	9:00~12:00	琉球大学 大学会館
	休憩(昼食)	12:00~13:00	
	総 会	13:00~14:00	琉球大学 大学会館
	池原賞表彰式	14:00~14:15	琉球大学 大学会館
	ポスター発表	14:15~15:30	琉球大学 大学会館ロビー
	一般講演	15:30~16:30	琉球大学 大学会館
	公開シンポジウム	16:30~18:00	琉球大学 大学会館
	懇親会	18:30~	琉球大学 生協中央食堂



講演申込

沖縄生物学会大会での発表を希望される方は、口頭発表かポスター発表の別を明記のうえ、講演要旨を次頁の要領でまとめ、**2016年4月15日（必着）**までに下記メールアドレス宛にお送り下さい。なお、申込人数に応じて口頭発表とポスター発表の演題数を調整せざるを得ない場合も想定されるため、発表形式の変更をお願いする場合があります。**原則として電子メールでの受付（okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp）のみとします（詳細は講演要旨の作成要領をご覧ください）。**

口頭発表は同一研究グループからは**原則1題のみ**とさせていただきます。残りはポスター発表とします。発表者は原則会員に限ります。会員の皆様の日頃の研究成果を発表する場として積極的に御参加くださるようお願いいたします。口頭発表は原則として**パワーポイント（pptx もしくは ppt ファイル）によるデジタルプロジェクター**使用での発表とします。ソフト等の不都合が起こることが懸念されますので、原則として御自身のパソコンをご持参下さい。準備委員会の方で OS が Win 7 か Macintosh OSX のノートパソコンを準備いたしますが、それ以外の設備を必要とする方は、予めお問い合わせ下さい。一般講演の講演時間は、質疑を含め**15分（講演12分、質疑3分）**です。

*ポスターパネルの大きさは約 180cm(縦)×90cm(横)です。この範囲に収まるように各自ご自由にポスターの大きさを設定ください。

講演要旨の作成要領と原稿送付方法

発表要旨原稿は、原則として e-mail による添付書類（MS-WORD）で受け付けることと致します（宛先 okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp）。メールの件名を「**発表申込 発表者氏名**」として送信下さい。フォントは MS 明朝体 11 ポイントとし、英文の場合は Times New Roman とします。演題、演者、本文を含めて 800 文字以内とします。文字数のカウント法についてですが、ワードの通常の画面下に出ている文字数には半角英数字は単語一つが 1 文字としてカウントされてしまいますので、校閲タブの文字数カウント機能でご確認ください。

E-mail がお使いになれない方は、印刷原稿もしくは手書き原稿でも受け付けます。原稿をこちらで打ち直しますので、上記 e-mail 原稿と同じ要領で A4 版の紙に清書して下さい。図表は講演要旨の中では用いないようにご配慮下さい。原稿を下記、沖縄生物学会第 53 回大会準備委員会宛で「講演要旨在中」として郵送していただくか、FAX(098-895-8576)でお送り下さい。

◆2016 年 4 月下旬発行予定の沖縄生物学会通信第 98 号にプログラムを掲載するため、発表の申し込みについては締め切り厳守でお願いいたします。

懇親会申込

発表の有無に関わらず、懇親会に参加される方は**2016年4月15日までに準備委員会宛にお申し込み**下さい。懇親会への参加申し込みは大会当日にも受け付けますが、参加者数を把握した上での準備のため、事前の申し込みにご協力ください。当日飛び入りでのご参加の場合、参加費は当日料金となりますのでご注意ください。懇親会費は事前申し込みされている方は2,000円、当日3,000円（学生は両方1,000円）の予定です。

<問合せ先>

沖縄生物学会第 53 回大会準備委員会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系事務室内
TEL (098) 895-8577 FAX (098) 985-8576, E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

◆シンポジウム

シンポジウムのテーマに関しましてご意見・ご提案を受け付けております。2016年1月末まで事務局にご連絡ください。電子メールでのアイデアを歓迎しております。過去のシンポジウムの一覧を下記に示します。シンポジウムの最終的なテーマは、今後、事務局と沖縄生物学会の大会実行委員会で検討した後、次回の通信でお知らせする予定です。

2015年	公開シンポジウム：琉球列島の「隠れた」環境における生物多様性	2009年	オキナワトゲネズミ <i>Tokudaia muenninki</i> ～アージの暮らせる森づくりに向けて～
	ミニシンポジウム：理科教育連携WG	2008年	沖縄の生物：環境変化がもたらした影響
2014年	琉球諸島の世界自然遺産登録に向けて：琉球諸島の生物多様性と保全の現状	2007年	外来種法の盲点：見えない脅威と琉球列島の生物多様性
2013年	奄美・琉球の世界自然遺産への登録に向けて	2006年	レッドデータブックを考える
2012年	生物多様性地域戦略の実効性を高める手立てとは	2005年	琉球列島の生物研究の新たな展開
2011年	琉球の生物地理-今後の展開に向けて	2004年	やんばるの危機 —マングースの北進とペット問題—
2010年	生物多様性地域戦略～戦略に資するモニタリングデータの効果的収集～	2003年	サンゴ礁と人の関わり

<連絡先>

沖縄生物学会第53回大会準備委員会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系事務室内
TEL (098) 895-8577 FAX (098) 985-8576, E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

※平成27年5月30日 第52回沖縄生物学会大会の様子 於：沖縄国際大学



正門にて

大会受付

口頭発表の様子



休憩スペース

慶留間小学校の
ポスター発表

理科教育連携WG
ミニシンポジウム

沖繩生物学会総会報告

沖繩生物学会第52回総会は、中村 崇庶務幹事の司会のもと、当山昌直副会長の開会挨拶、日高道雄会長の挨拶の後、議長団として山城秀之会員、中本敦会員が選出された。

報告事項として、伊澤雅子庶務幹事による、2014年度事業報告（52回大会の開催、通信95～96号の発行）が行われた。ついで成瀬 貫編集幹事より、会誌53号の発刊、および会誌の投稿規程の（フォーマットに関する部分の）改訂について編集報告がなされた。傳田哲郎会計幹事による2014年度決算報告、齋藤由起子監査委員による監査報告がなされた。次いで、当山昌直池原貞雄記念賞選考委員長より、第6回池原貞雄記念賞の選考経過が報告された。

審議事項として、伊澤雅子庶務幹事より、2015年度事業計画（会誌54号発行、通信97、98号発行、第53回大会を琉球大学西原キャンパスで開催すること）が提案され承認された。傳田哲郎会計幹事より2015年度予算案が提案され、承認された。次いで日高道雄会長より、会則改定の提案がなされた。これは前回の総会で各委員会委員長が評議員会構成員になることが承認されたため、評議員会の定足数を「評議員の2分の1以上の出席」から「評議員会構成員の2分の1以上の出席」と改訂するものである。会則第23条「評議員会は会長が召集し、評議員会構成員の2分の1以上の出席によって成立する」と下線部を挿入することが承認された。

その他として、会長より、会員サービスの向上のために会員名簿を整備したい、そのために次号の通信配布時に同封した返信用葉書に所属やメールアドレスなどの情報を記載して返信してもらいたいので協力をお願いしたい旨の発言があった。また会場から、総会への出席者数を増やすため、総会を開催する時間帯を工夫すると良いのではという意見が出された。

議長団解任の後、当山昌直副会長の閉会挨拶により総会を終了した。

総会に引き続いて、第6回池原貞雄記念賞の授賞式が行われた。当山昌直選考委員長による授賞理由説明の後、研究奨励部門受賞者の中西希氏、教育功労部門受賞団体の沖繩生物教育研究会の副会長知花史尚氏に、表彰状と副賞が会長より手渡された。その後、中西希氏による「イリオモテヤマネコの生態および保全に関する研究」の紹介、知花史尚氏による沖繩生物教育研究会の活動紹介が行われた。

沖縄生物学会評議員会報告

沖縄生物学会評議員会が2015年10月27日(月)午後6時から、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は13名でした。

[審議事項]

1. 第53回大会の準備状況について

日程は2016年5月28日(土)、場所は琉球大学西原キャンパス大学会館、大会準備委員長は中村崇幹事という予定が報告され、承認された。高校生ポスター発表も前回大会に引き続き行うことで承認された。詳細は1ページをご覧ください。

2. 第7回池原貞雄記念賞の推薦要領の改訂について

研究奨励部門については、研究内容を評価する際に代表的な論文が添付されていた方が望ましいという意見が選考委員会委員より出され、推薦要領の募集および応募方法に「研究奨励部門については代表的な論文5編以内を添付すること」ということを追加することが提案され、承認された。

3. 学会著作権規程(案)の制定について

編集作業の効率化のため、JSTによる著作権規程のひな型文案を参考に作成された「本著作権財産は、本学会が掲載受理の通知を発行した時点をもって本学会に譲渡されたものとする。」という文言を規程にいれ、著作権譲渡に関する書類の提出してもらわなくても譲渡の手続きが完了できるようにする案が、前回評議員会に引き続き審議された。審議の結果、前回の評議員会で指摘のあった「著作権を譲渡した場合、写真を提供した人の権利がなくなり、本人が利用する際にその都度、学会編集委員会から許可を得る必要があるのか否か」「いつの時点からこの規程を適用するか」という2点について質疑があり、さらなる審議が必要との結論に達し、次回評議員会で編集幹事にその趣旨を再度説明してもらい、再度審議して、総会の審議事項とするかどうか検討することになった。

4. 役員改選の準備について

改選になる方の次の候補者を推薦、または個人的なつながりをおして探していくことになった。会の歴史や状況について詳しい池原貞雄記念賞の選考委員会委員に日高道雄会長、玉城歩幹事を加えたメンバーに次期役員候補者について諮問することとなった。

5. その他

学会の大会の開催時期が例年、5月末の土曜日であることについて、高校に所属する参加希望者にとっては、例年、高校総体と日程が重なり、参加が難しいとの意見が大城評議員より寄せられた。審議の結果、日程の希望については、書面で要望を出してもらい、再来年以降の大会時期を決定する際に考慮していくことが確認された。

[報告事項]

1. 理科教育連携WGの活動報告

理科教育連携WGの今年の活動、今後の計画について日高会長より報告された。レクチャーシリーズ第2回についても計画中であることが報告された。

第7回沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

第7回沖縄生物学会池原貞雄記念賞の候補者を募集します。規約にあるとおり、本賞は沖縄の生物の研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、および将来の成果が期待される若手会員に対して贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。今回改定された、池原貞雄記念賞表彰規約は次ページに記載しています。受賞者の決定は選考委員会で行われ、沖縄生物学会大会開催時に授賞式を行います。

池原貞雄記念賞候補者推薦要領

1 推薦方法

別紙様式の表彰候補者推薦書(様式1)、推薦理由書(様式2)、履歴書(様式3、個人推薦の場合のみ)、団体の概要(様式4、団体推薦の場合のみ)各2部を添えて、沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局あて郵送にて提出する。

2 推薦人員

(1)各会員が推薦できる人数は、一部門の1名または1団体とする。

3 候補者の例示

(1)表彰規約の若手とは、おおむね45歳以下をいう。

(2)表彰規約の長年とはおおむね10年以上とする。

(3)表彰規約3の2の(1)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア 沖縄の生物に関する論文、講演などの実績があるもの。

(4)表彰規約3の2の(2)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア 沖縄の生物・環境に関する教育・普及啓発活動に実績があるもの。

(5)表彰規約3の2の(3)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア 沖縄の自然環境の保全に関する活動実績(書籍、事業、イベントなど)があるもの。

4 候補の対象としない者

(1)過去に当記念賞を受賞した者。

5 応募方法

(1)沖縄生物学会通信および学会ウェブサイトにて公募する。様式はウェブサイトからダウンロードできる。

(2)表彰規約3の2の(1)でいう研究部門については、代表的な論文5編以内(コピー可)を添付すること。

(3)応募書類の送付先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内
沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛

6 留意事項

受賞者には沖縄生物学会大会授賞式で自らの研究または活動の概要を含めた挨拶をしていただきます。

問い合わせ

本件に関する問い合わせは、学会事務局へメールにてお願いします。

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系

Tel: 098-895-8577, Fax: 098-895-8576 E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

池原貞雄記念賞表彰規約

2009年11月17日制定

2014年11月17日改訂

1 趣旨

沖縄生物学会(以下、学会)の発展と沖縄の野生生物の基礎研究と保全、人材育成に多大な貢献をされた故池原貞雄初代会長を記念して、沖縄の生物研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、あるいは将来の成果が期待される若手会員に対して、その功績をたたえ学会が表彰する。

2 表彰の時期

毎年の学会大会の日に授賞式を行う。

3 表彰者の範囲

1) 表彰者は原則として、個人の場合は学会会員(授賞式の時点で会員歴が1年以上)であること、団体の場合は会員3名以上が推薦する団体であること。

2) 表彰の対象は、次の各号に一に該当する個人または団体とする。

(1) 研究奨励部門 沖縄の自然もしくはその保護に関し顕著な貢献が期待される研究を行った若手研究者。

(2) 教育功労部門 長年にわたり沖縄の自然もしくはその保護に関する教育実践、普及等に従事し、顕著な功績のあった個人または団体。

(3) 環境保護部門 長年にわたり沖縄の自然環境保護に関する活動を継続し、顕著な功績のあった個人または団体。

4 表彰者の人数

原則として各部門それぞれ1名または1団体とする。

5 表彰者の推薦

表彰者の推薦は、別に定める池原貞雄記念賞候補者推薦要領により、学会会員の自薦または他薦とする。

6 表彰者の決定

表彰者の決定は、上記3の2)の候補者から池原貞雄記念賞選考委員会(以下、選考委員会)が行い、学会評議員会の議決を経て決定する。

7 選考委員会

1) 選考委員会委員(以下、選考委員)は、学会副会長1人、ならびに評議員会により選出された若干名とする。

2) 選考委員の任期は2カ年とし再任を妨げない。

3) 選考委員会は学会会長が招集し、選考委員長が会議を進める。

4) 選考委員長は委員の互選による。

5) 選考委員長が会議に参加することができないときは、選考委員長があらかじめ指名した委員が会議を進行する。

6) 選考委員に欠員が生じた場合には、新たな選考委員を選出する。その際選出された後任の任期は前任の残任期間とする。

7) 選考委員会は、必要に応じて第三者の意見を求めるなどして、審査の公平を期するものとする。

8 表彰の方法

学会会長から表彰状と副賞(記念品)を授与する。

9 事務局

本記念賞の事務局は、沖縄県中頭郡西原町千原1番地、琉球大学理学部海洋自然科学科内の学会事務局内に置く。

沖生会理科教育連携 WG 活動報告

昨年度より、沖縄生物学会と沖縄生物教育研究会の連携を模索しています。とりあえず、高大連携に絞って活動していくことで方向性は固まりましたが、具体的な動きは未だわずかですが、できることから少しずつ進めて参りたいと思います。

【活動報告】

第1回会議 2014年9月4日 18:00~19:45

第2回会議 2015年3月25日 18:00~19:45

第3回会議 2015年4月28日 18:00~19:15

第52回沖縄生物学会にてミニシンポジウム開催 2015年5月30日 16:00-16:40

第4回会議 2015年6月24日 18:00~19:50

沖縄県総合教育センター高校生物実習講座 2015年8月10~11日

沖生会日高道雄、大瀧丈二、仲栄真礁の3氏による教材解説および観察実習

沖生会・沖生教研懇談会 2015年8月12日 15:30

沖生会2名、沖生教研11名で懇談

【今後の活動（検討事項）】

(1) 教科書「生物」の解説講座：新課程に新たに加わった生命科学先端分野の解説講座を、月一程度で設定。教科書の内容を単元ごとに区切って、そのポイントや指導書の内容などについて沖生会の会員に講義してもらう。その分野の最新研究なども学習。

(2) 沖縄固有の生物の教材化、実験書の作成：理科教育連携で行った内容を、主催者問わず1回につきA4で2ページにまとめ、報告書として蓄積する。資料としてまとめ、会員同士で共有する。

(3) 教材として使用できる映像データベースの作成への協力：まずはデータベースをどこに置くかを決め、沖縄の生物だけでなく実験機器、研究風景などの画像を蓄積。著作権を気にせず画像利用が可能になる。画像以外にもPPTファイルなども入れられるとよい。

(4) 生物クラブなどにおける研究活動の支援：沖生会より、どんな先生がどんな支援ができるのかといった一覧を出していただけるとありがたい。窓口をどこにするか、沖生会で検討。

(5) 長期的な活動：ハワイ大学K12プログラムを参考に、中・高校生、教諭、大学院生がチームを作って研究プロジェクトを立ち上げる。環境教育プログラムの導入・紹介・実践等。
(ひきつづき検討事項)

今後とも、みなさまのご協力をお願いします。

沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長，副会長，監査員および評議員が下記のように選出され，前回の総会で承認されました。任期は2年間で，2016年5月の総会までです。

会長 日高 道雄(琉球大学)
副会長 豊島 正憲(沖縄生物教育研究会長)
当山 昌直(沖縄県教育長文化財課)
監査員 盛口 満(沖縄大学)
齋藤 由紀子(琉球大学)
水野 拓((株)イーエーシー)

評議員

大学関係 新垣 裕治(名桜大学) 照屋 建太(沖縄キリスト教学院大)
藤田 喜久(県立芸大)
研究機関 山崎 仁也(県立博物館・美術館) 阿部 篤志(沖縄美ら島財団)
長田 智史(沖縄県環境科学センター)
行政機関 城間 恒宏(沖縄県教育庁) 阪口 法明(那覇自然環境事務所)
高校関係 大城 直輝(那覇高校) 知花 史尚(総合教育センター)
大隅 大(名護高校)
中学校関係 平敷 りか(琉球大学附属中学校)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 当山 昌直(沖縄県教育長文化財課)
池原貞雄記念出版委員会委員長 横田昌嗣(琉球大学)
自然史博物館設立要請委員会委員長 当山 昌直(沖縄県教育長文化財課)

庶務幹事 須田 彰一郎(琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)
伊澤 雅子(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)
会計幹事 傳田 哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)
編集幹事 成瀬 貫(琉球大学) 伊藤 竜一(琉球大学)
編集委員 久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)
大瀧 丈二(琉球大学) 今井 秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い，ご意見，活動，紹介したい内容などがございましたら，事務局にお知らせいただくか，学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは，okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

沖縄生物学会編集委員会

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

庶務 中村 崇 (098)895-8897

FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会